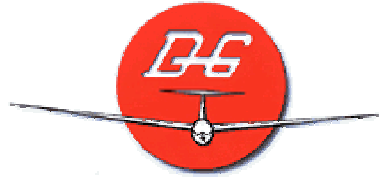


# DG Flugzeugbau GmbH



"Open Day" at DG on 23rd February 2002

## 「工場公開日」

### 2002年2月23日 DG 本社にて

このような成功を収めると誰が考えたでしょうか？

去年の12月、最初に工場公開を実施するという話が持ち上がったとき、その成功を疑わしく感じたのは私だけではありませんでした。「考えてみるよ、私たちが工場公開をして、誰も来なかったらどうなる？」

最初は反応が鈍かったので、年末には100～150人の参加を見込んでいました。まあそれでもそう悪くはないでしょう。

しかし、その後数週間で、ますます多くの参加申し込みがありました。「2月23日、XYクラブからは40名が参加します。」というような簡明なメールも受け取りましたし、貸し切りバス業者からは道順を聞く電話がかかってきました。イベント前の1日で530人の申し込みを受けたこともあります！

最終組み立て工場はきちんと片づけられ、「ビッグ・デー」に備えていました。

ほかのすべての建物もきちんと片づけられ掃除されました（時々こうしたことを実行するにはいい機会です！）し、出入り口とお客様の通路は、立ち入り禁止区域をテー



ブで封鎖することで、明確にしました。

オフィスと格納庫もお客様の出入り自由としました。

それで、どんな楽しいことがその日起きたのでしょうか、というか、今これを読んでるあなたは見逃したのでしょうか？

➤ 入り口ではお客様は DG 社員の奥方やパートナーたちのシャンパンサービスで出迎えを受けました。

➤ その後、お客様は製造区域を見て回り、社員から目の前で製造中のグライダーについての説明を受けることができました。

これは、我々職員にとってもいい経験でした。というのは、自分たちの仕事内容がお客様にとって大変興味のあるしかも価値あることだ、ということを実感できたからです。

毎日グライダーに携わって仕事をしていると、お客様にどう見えるか、ということをおぼえてしまいがちなものです。

➤ 最終組み立て工場では、私たちのグライダーが組み立てて置いてあり、お客様がコックピットレイアウトやその快適さに触れることができるようにしてありました。至る所から来たグライダーパイロットたちはすぐにお互いにうちとけて、話がはずんでいました。

➤ パンフレットと CD を配布するインフォメーション・カウンターがありましたが、用意していた 200 セットは十分な数にはほど遠いものでした！

➤ 大きなスクリーンを持つフライトシミュレーターは、とくに、私たちの未来のお客様（つまりやや年長の子供たちです）に使われていましたが、彼らはボーイング 777 を大きくロールさせたり、宙返りさせたりしていました…。乗客がかわいそうですね…。



➤ もう少し年少の子供たちは、有名な北アメリカのハンバーガーチェーンが貸してくれた、風船のお城で楽しく遊んでいました。😊

➤ 決定的なハイライトは、私たちのレスキューシステム **NOAH** のデモンストレーションでしたが、一人の志願者が **NOAH** を実際に使ってグライダーから4回放り出されているのを見て、大観衆は **NOAH** に引きつけられていました。多くのお客様に感心していただきました！

➤ そして、お客様は私たちが差し上げたスープ、ソーセージ、コーヒー、プラス社員によるホームメイドのケーキで、お腹を空かせることはなかったということをつけ加えておきます。

実際には、お客様の人数を誰も数えていなかったのですが、私たちは、約700人のお客様がお見えになった、と見積もっています。そして、私はその700人という数字が「700人の幸せで満足したお客様」を意味すると思いたいのです。



たくさんの方が私や私の妻、職員に話しかけてくださいました。そして、新製品の展示場や、私たちのスタッフの感じの良さ（彼らなしにはこのようなイベントを開催するのは不可能だったでしょう）、それから製品にも、大いに感心したとおっしゃってくださいました。

設計者たちのディスカッション：

Sven Lehner と、同様に ロラデン・シュナイダーからの  
"Micro" Scholz と夫人

さて、ごく控えめにいっても、このイベントが大成功で、私たちは大いに楽しんだといってもいいのではないのでしょうか。

私たちの献身的なスタッフに大きな感謝を。彼らは全員、このイベントでお客様をもてなすことを志願したのです！



記 : -k-f-weber - 24. febr. 02



英訳 : Claudia Buengen



日本語訳 : 深瀧 庸平

[Back](#)



[Contact](#)



[Home](#)